

1 目的

Hiroshima Active Library 協働事業は、広島県内の公共図書館、大学図書館等の複数図書館が、同一テーマの事業を同日（週）に協働して実施することで、図書館がリードして、当該事業への市民（県民）の関心を深める。

2 これまでの取組

平成 29 年度：Hiroshima Active Library 協働事業

(1) 取組の内容

ア テーマ：「障害の理解」

イ 参加館：広島市内の公共図書館（15 館）・大学図書館（17 館）全て

ウ 事務局：広島市立中央図書館、広島県立図書館

エ 期間：12 月 3 日（日）～9 日（土）

オ 内容：図書展示（29 館）、講演会・講座（3 館 4 回）

おはなし会（1 館 1 回）手話のおはなし会（1 館 1 回）

バリアフリー図書&読書支援機器体験会（1 館 1 回）

障害者作品等の展示（4 館）

障害者アートを活用した観光 PR ポスター展（7 館）

製品販売会（1 館 2 回）

上映会・体感型音響システム映画（1 館 2 回）

上映会・バリアフリー映画週間（1 館 5 回）

(2) 取組の成果

同一テーマで行う展示や個々の事業に、市民（県民）や学生の関心が寄せられた。広島市立中央図書館、広島市映像文化ライブラリー、広島都市学園大学図書館が連携して行った講演会の取組等が、次への事業につながった。



【広島市立中央図書館の講演会
「障害者アートの今とその魅力を伝える」の様子】



【広島女学院大学図書館の展示】

3 平成 30 年度の取組

参加館を広島市域から広島県域に拡大予定としている。2 月 28 日に Hiroshima Active Library 協働事業の関係者会議を開催し、スポーツを共通テーマにすることとした。